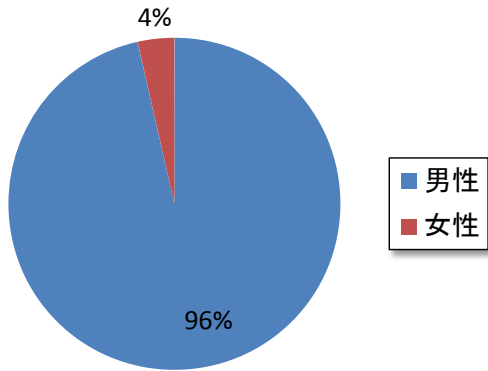


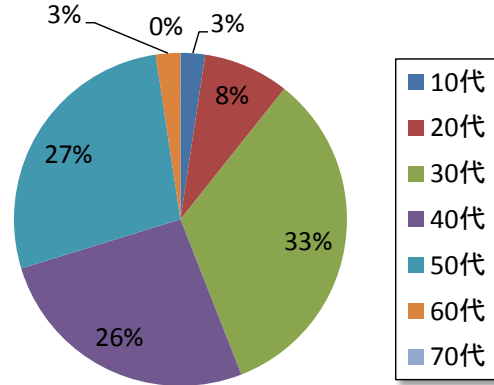
“ふくしま発”市町村橋梁の長寿命化を考えるシンポジウム アンケート集計結果

アンケート総数：84件

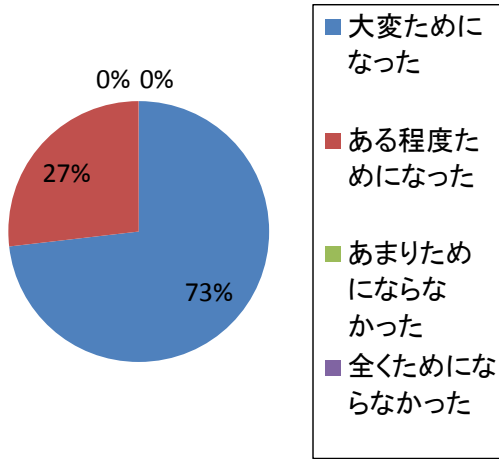
参加者(性別)



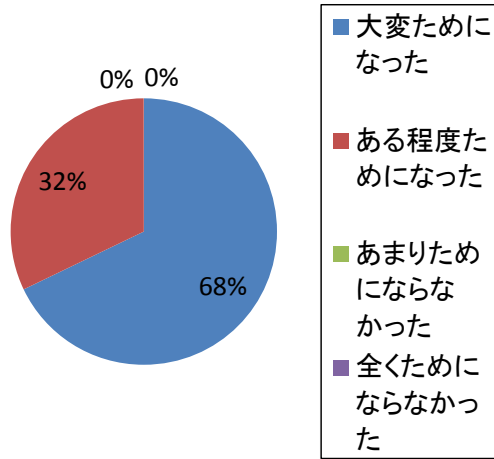
参加者(年代)



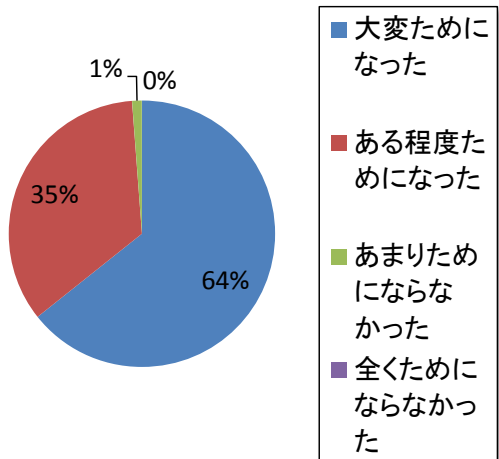
感想(シンポジウム全体)



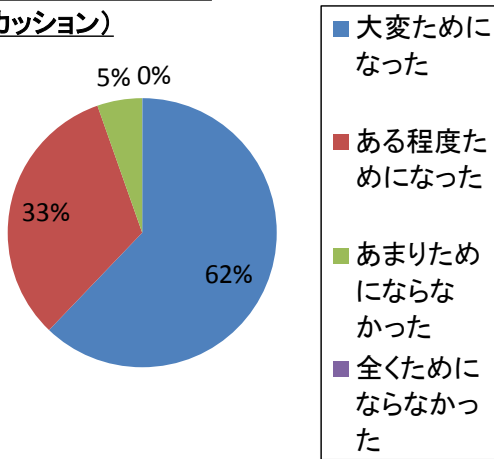
感想(基調講演)



感想(話題提供)




感想(パネルディスカッション)



“福島発”市町村橋梁の長寿命化を考えるシンポジウムに関する感想・意見

1. 今後の課題が明確に見えて来た。公共のインフラは、国や自治体の財産ではなく、我々国民一人一人の財産であるということ、すべての国民が持続可能な社会づくりのため、次の世代に負の遺産を残さないため行動すべきだと理解しました。すばらしい内容でした。
2. 佐藤靖彦先生のコンクリート凍土の研究を速く進めてもらいたい。
3. 技術者（橋梁専門家）が市町村に必要と感じた。又、点検者を一般コンサルでもできるシステムも必要と思います。
4. 失敗事例（県内の）を掘り下げて、次のステップ（補修計画等）に役立てるためのシンポジウムを計画願いたい。
5. 全国の自治体の実態の話題があれば是非
6. 市町村の橋梁の置かれている現状、最新の研究の取組等大変参考になりました。
7. 大変面白かったです。
8. もう少し時間があってもよかったのでは。各講演の時間が少なかったと思われる。
9.
  1. データベースの集約
  2. 修復工法の公開（統一的な見方が出来る）
  3. インターネット等での公開を行い、修復工法が分かりやすくなる。  
大学側での情報の提供、工法の指導、コストの縮小となると行政側でも点検しやすい。
10. 今日のシンポジウムにより、現状と課題が良く分かった。  
今後は、もう少し広域的に（全国レベルとはいかないまでも、東北、東日本等）情報発信することで議論の輪を広げていくことで、最終点にわが国の方向性を見出していくことが大切と思う。
11. 内容の濃いシンポジウムだったと思います。  
次回は発注者の本音（取組み状況と現実のギャップ）も発表されると更に活性化した議論になるのではないのでしょうか。  
学生の目線での意見も一考と思います。
12. 今後の活動をガンバッテ下さい。
13. 定期的に関いていただきたい。また、勉強会（点検等）もあれば良いと思う。

14. 今後の橋梁の長寿命化について、まだまだデータ不足などの問題もあるので良く考えて計画策定をしていただきたいと思います。
15. 大変有意義なシンポジウムでした。私が所属する部署（行政）は技術者が不足しております。また、民間建設業者も技術者、技能者が不足しております。今後、土木構造物の維持管理には多額の費用がかかります。費用も技術者も無い状況で、まずは簡易的に維持管理を地域住民をまき込みながら構築できればと思います。今、本当に土木技術者が不足しています。日大工学部土木工学科のみなさん魅力ある土木業界をつくってください！！
16. 市町村職員の技術的支援が必要  
  
興味を持てるようなシステム構築出来れば  
気力、体力、知力（知力は後でついてくる）
17. 長寿命化の課題について、技術力と言うのは簡単だが、人事異動もある環境下で一定の技術力を継続するのは難しい。外部の技術者についても、その技術力を評価・理解し活用するのは、行政側の技術力も欠かせないと思うので、その人員技術者をどのように形成するかが、課題の一つだと感じました。次回も宜しくお願いします。
18. 臨床と病理の連携をきちんと構築しなければならないと思った。
19. 技術者の教育・ビジネスモデルの作成、各市町村の実状を今回を機に注目して学んでいきたい。来年もぜひ参加したいです。
20. パネルディスカッションでは講演では聞けなかった考え方、課題、方向性が聞けて、大変参考になりました。
21. 定期的に実施してほしい。
22. 地域住民も含めて橋を守る活動が実施されていると知り大変良い事と考えた。今後はシンポジウムを通して橋を利用している人達も参加しての長寿命化を考え、実施していける様に期待する。福島発全国へ！！
23. 今後、橋梁長寿命化の政策を進めていくには、自治体の横のつながりが重要だと考えます。今回のようなシンポジウムから出発して、研修会など意見しあえる場や意見交換できる場が生まれてくれば良いなと思います。そしてデータを共有できるようになれば発展していくと考えます。

24. 自治体で仕事をしているだけでは得られない内容だった。今後とも継続してもらい、福島県の橋梁の現況を知る場を提供して頂きたい。北海道や香川県の状況も聞けたことはとても良かった。またよろしく願います。
25. 橋梁の長寿命化修繕計画を策定したのちに、計画に則った補修・補強対策の予算・技術者等の不足により計画どおりに実施できるか不透明。コストダウン
26. 大変貴重なシンポジウムに参加させていただきありがとうございました。  
特に、パネルディスカッションにおいては、現場から研究室からの生の意見が聞けてとても良かったです。
27. 大変参考になりました。
28. 市町村の担当者からの情報提供（実状）があれば良かった。  
パネルディスカッションにも市町村の担当者を入れたらどうか。
29. 非常に良かったと感じます。様々な立場での意見が聞ける機会はそんなになので、いいシンポジウムでありました。次回、懸賞の会をとパネルディスカッションでも出ていましたが、その会にも出席して、どういう進展があったか聞くことを楽しみにしたい。開催の御苦労もあるかと思いますが、またがんばっていただいて開催を期待したい。
30. 岩城先生の平田村のとりくみ、とてもすばらしいと思いました。
31. パネルディスカッションでの各分野からの意見が大変参考になった。  
今後もシンポジウムなどに積極的に参加し、多くの意見を聞きたいと思う。